

各 位

会社名 アマノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 津田博之
 (コード番号 6436 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員
 経営企画本部長 井原邦弘
 (TEL: 045-439-1591)

平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成30年4月25日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値について、差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異
 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

<連結業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	61,000	5,900	6,200	3,300	43.39
今回実績(B)	61,008	5,502	5,924	3,828	50.55
増減額(B-A)	8	△397	△275	528	—
増減率(%)	0.0	△6.7	△4.4	16.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	57,962	5,628	5,982	4,071	53.61

<個別業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	33,400	3,700	4,800	2,600	34.19
今回実績(B)	33,885	3,830	5,165	3,699	48.84
増減額(B-A)	485	130	365	1,099	—
増減率(%)	1.5	3.5	7.6	42.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	32,930	3,800	4,997	3,741	49.26

2. 差異の理由

個別業績については、売上高は、情報システムを中心に受注が拡大し、期初計画を若干上回る実績となりました。利益面では、全社的な原価及び経費低減活動の効果に加え、当初見込んでいた特別損失の計上がなかったことにより、期初の利益計画を上回りました。

連結業績については、売上高は、北米が減収となったものの他の地域の増収でカバーし、概ね期初計画どおりの実績となりました。利益面では、個別業績が増益基調となり、国内・欧州・アジアのグループ会社の業績は好調に推移したものの、北米の業績回復が当初想定より遅れたことにより、営業利益及び経常利益については期初計画を下回りました。

なお、平成 31 年 3 月期通期の業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合には、適時に開示してまいります。

以 上